

鳥取県人権意識調査結果報告書（平成 26 年 5 月調査）の一部を次のように変更する。

変更箇所：P98

| 変 更 後 | 変 更 前 |
|---|---|
| <p>同和地区出身者との結婚について、「A. 同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」（48.7%）が最も高い。</p> <p>一方で、「B. 自分としてはややこだわりがあるが、子の意思を尊重する」（19.9%）、「C. 自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」（8.2%）、「D. 自分としては反対しないが、家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない」（2.2%）、「E. 自分は反対であり、絶対に結婚は認めない」（2.7%）という、結婚に対し何らかのこだわりがある又は結婚を認めないとの回答は合わせて 33%となる。</p> <p>「F. わからない」は、14.5%であった。</p> | <p>同和地区出身者との結婚について、「A. 同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」（48.7%）が最も高い。</p> <p>次いで、「B. 自分としてはややこだわりがあるが、子の意思を尊重する」（19.9%）となっており、結婚に肯定的な意見は合わせて 68.6%となる。</p> <p>一方、「C. 自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」（8.2%）、「D. 自分としては反対しないが、家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない」（2.2%）、「E. 自分は反対であり、絶対に結婚は認めない」（2.7%）となっており、結婚に否定的な意見は合わせて 13.1%となる。</p> <p>「F. わからない」は、14.5%であった。</p> |

【変更理由】

「自分としてはややこだわりがあるが、子の意見を尊重する」という選択肢について、結婚に賛同する意味で肯定的な結果として捉えていたが、「こだわりがある」ということは何らかの差別意識を含んでいるものであり、否定的な結果として整理し直すとともに、「肯定的」「否定的」という表現は誤解を受ける恐れがあるため、こだわりがあるかどうかという表現に変更したものを。